

Q Zoom Up

4月1日 がん診療連携指定病院に指定

充実する市立病院の医療体制

市立病院は、専門医や最先端の医療機器などを備えた総合病院です。地域の医療機関と連携し、皆さんの命や健康な暮らしを守っています。4月には、県のがん診療連携指定病院になるなど、より充実した医療を提供できる体制を整えています。

市立病院は、2003年に県から委譲されて以来、身近な総合病院として医療体制を充実させてきました。新型コロナウイルス感染症の対応でも、県の重点医療機関として酸素投与が必要な「中等症」の患者らを受け入れています。4月からは県のがん診療連携指定病院になり、新たな役割を担います。

高度ながん医療を提供

がん診療連携指定病院は、質の高い医療を提供する役割があります。手術



高度な医療を提供



2017年12月に建て替えを終え全面オープン

や薬物療法などの専門的な医療の提供に加え、患者と家族の心身を支える「緩和ケア」も実施。地域の医療機関との連携や、患者への相談支援・情報提供などにも取り組みます。指定を受けたのは、県央地域で2病院目。市民だけでなく広域での高度ながん医療の提供に当たります。

市立病院の長谷川節院長は「指定を受け、これまで以上に診療の質を高めたい。患者会との連携、緩和外来の充実など総合的ながんケアを強化し、より安心で適切な医療を提供したい」と

力を込めます。

より信頼される病院に

市立病院は4月、県周産期救急医療システム協力病院にもなり、小児・周産期医療の体制も整えています。さらに、脳神経内科医・外科医が連携して患者を受け入れ、高度な治療ができる「脳卒中センター」の開設備も進めています。市立病院は今後も、皆さんに信頼される医療体制を整えていきます。

問 病院総務課 ☎221-1570

人や暮らしに寄り添ったサポートを



外科系統括診療部長
兼外科主任部長
渡部 通章 医師

2020年8月から指定に向けたプロジェクトチームを作り、病院が一丸となって取り組んできました。これからは、診療のレベルアップはもとより、がん相談支援センターや緩和ケアをさらに充実させていきます。生涯で二人に一人ががんを患う時代です。精神的な負担や、治療に伴う生活・社会性の変化に対して、がん相談支援センターを中心に支えていきます。

5月12日は看護の日



一人一人が助け合いの心を持って過ごしましょう。

◆一日看護体験

日時 8月19日 8時45分～12時30分

場所 市立病院

内容 病棟での看護ケア体験

対象 市内や近隣市町村在住在学の高校生20人程度

☎ 6月30日までに市立病院HPから申し込み。抽選。



申し込みはこちら

問 病院総務課 ☎221-1570

安心安全な周産期対応

市立病院では自然分娩を基本に、総合病院の強みを生かし、多くの診療科が連携した周産期対応を実施しています。

■安心して出産できるように

帝王切開や無痛分娩での麻酔は、専門医が対応し安全で質の高い医療が提供できます。リスクの高い妊婦には、各領域の専門医と共に診療し、分娩には小児科医師が立ち会います。



■無痛分娩にも対応

麻酔科専門医が、安全で快適な無痛分娩を実施しています。出産時の痛みの緩和とストレス軽減が期待されます。金曜に「無痛分娩初診外来」を開設しています。

【予約】市立病院 ☎221-1570

(月～金曜 15～17時)

※「無痛分娩希望」と伝えてください。

■リスクの高い出産にも対応

高度な医療水準で一貫した対応を24時間体制で確保し、4月から県の周産期救急医療システム協力病院にも指定されています。



詳しくはこちら

